

# 協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部文化振興課
記入団体名	Peaceやまぶき

記入年月日	平成24年12月7日
-------	------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	川越の秋を彩るテノールとソプラノ珠玉のうたごえ	
協働事業の概要	川越の秋を彩るテノールとソプラノ珠玉のうたごえ 日時：平成24年11月16日（金）13：30開演 会場：川越市民会館やまぶきホール 対象者：市内在住・在勤・在学の方 内容：川越出身の声楽家のコンサート 東海林尚文（テノール・川越出身・富士見市在住） 登川直穂子（ソプラノ・川越出身・イタリア在住） 入場料：前売1,300円（当日200円増）。障害者1,000円 ☆平成24年9月15日（日）霞ヶ関公民館にてプレ企画（ミニコンサート）開催。 170人無料招待。松江町聖公会教会にて8/30、9/29に合唱団レッスン。	
協働事業の決算額	141,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年11月16日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	3	4	3.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	3	4	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	30点
------	-----



○『川越の秋を彩るテノールとソプラノ珠玉のうたごえ』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

Peaceやまぶきの企画する事業について、文化振興課では平成22年度に開催した「新井満、千の風になって」、平成23年度の「日色とも糸 おはなしと朗読」に続き本年度事業で3年継続して協働してきました。

団体としての自立性もあり集客力のある事業を毎年企画しています。

行政側としてもできる限り協力していきたいと思いますが、財政的援助となると厳しい状況があります。

今後も、情報提供など行政としてできる部分で協力していきたいと考えております。

【市民活動団体等】

3回目の協働事業であり、理解も少しは進んだと思います。これで終了なのが残念。

担当課にどの段階で何を相談したらよいか見当がつかず、窓口が遠かった・・・が、今回は学校への宣伝方法、広報掲載の件、市掲示板所在地の地図、市長面会等々でご指導いただきました。

Peaceやまぶきの実行委員は年齢は高いけれど、平和と文化に対する理解は共有しているので、みんなそれぞれ持てる能力を発揮しあい、励ましあって3回とも大成功でした。しんどいけれど、充実感を出演者、参加者、実行委員が創り出し、味わったと思っています。協働事業は素晴らしい企画なので、多くの方々に広げて実践を助けて市民度アップにつながっていくといいですね。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・参加者から「ブラボー」と賛辞が寄せられるなど企画は成功したと考えます。今後も貴団体のノウハウを生かし、事業の展開を期待します。

・市民手作りの「文化的事業」で関係者の苦労がしのばれます。毎回予想が不確定な観客動員で、収支に頭を痛めていることでしょうか。この市民団体の力を「施設管理公社」との連携に生かせないものなのでしょうか。市民が望む文化事業の計画を立てる合同実行委員会ができれば、継続となると思います。

・PRについて苦労をされているようですが、この事業のターゲットを明確にすればその方法もしばられてきます。本格的なコンサートを聴きたいという人は多いと思われる。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・本事業は地域の音楽文化の振興に寄与するもので、有意義である。協働事業として実施するか否かは別として、市が音楽都市を目指すのであるなら、この種の試みは、継続して行われることが求められ、それに対して市が支援するということが必要となるのではないか。

・次年度以降は、これまでの経験を活かして独自での運営に力を入れ頑張ってください。

・いろいろな音楽鑑賞企画がある中、身近な場所で低額で楽しめる企画は、素晴らしいです。皆さんの頑張りが花開いた時間だったと思います。3年目の企画なのに行政との情報交換に問題点があるのが気になります。これからも「平和であるからこそ安心して文化を育み楽しむ」を大切に活動されることを願っています。

・明確な方針を持ち、協働事業としてどのような効果を持つのかを明確にして、内容を考えないと事業の意義が失われる可能性がある。今回は、文化振興の一環としての意味はあった。

# 協働事業評価シート

記入団体名（部課名）	文化スポーツ部 文化振興課
記入者（職名及び氏名）	川越シニア大学『小江戸塾』

記入年月日	平成25年1月30日
-------	------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
--	-----------------------------

協働事業名称	川越シニアカレッジ「ふるさと塾」	
協働事業の概要	<p>○川越シニアカレッジ「ふるさと塾」の実施 川越に関する著名な先生方を講師としてお迎えして基礎学習・現地学習を学ぶと共に受講者主体のグループ活動を実施した。</p> <p>①期間・回数：平成24年7月11日～12月19日 全11回 ②時間：午前9時30分～午後3時30分 ③会場：市民会館ほか ④対象：川越市在住55歳以上の男女</p>	
協働事業の決算額	100,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年7月11日～平成24年12月19日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34点
------	-----



## ○『川越シニアカレッジ「ふるさと塾」』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

川越シニアカレッジ「ふるさと塾」は、高齢者の学びと仲間作り、また子どもたちの学習を支援するボランティアの育成を目的とする講座です。

実施にあたり、小江戸塾の多数の方々が発行委員として担当されましたが、打ち合わせや反省会を行い、それぞれの役割を確認しながら、グループ学習や市内散策などの時にも、きめ細やかな援助ができていました。発行委員自身も数年前にこの講座を受講した卒業生という、近い目線での援助ができるため、より効果があるものと思われます。協働事業とすることで、団体と市の双方の特性を活かし、より良い事業展開が出来ているものと思われます。

#### 【市民活動団体等】

川越シニア大学『小江戸塾』は社会のニーズを受けて、元気なシニアの仲間づくりを行い、力を合わせて現役世代に培った知識・経験と生涯学習を通して得た知識・経験を生かして子どもたちと共に川越の歴史・文化・自然・環境・その他について遊びながら学び・学びながら遊ぶ活動を進めて参りました。この活動の後継者の育成が必要であります。

平成24年度提案型協働事業として川越シニアカレッジ「ふるさと塾」を開講し、事業展開をして参りました。協働事業という仕組みは市民に対するアピール度は前述の通り大したものであります。今後もこの仕組みの適用を切に希望致します。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>B</b>
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

- ・シニアを元気にする本事業への期待は大きいものがあります。
- ・受講生の約70%の方が「小江戸塾」に入会したことで、学校支援等の活動の範囲が広がると思います。しかし、学校側の期待する内容と「小江戸塾」の用意できる内容の摺合せをどのように行っていくのが課題と思います。シニアだけでなく「伝える教育」のシステムを構築していただけたらと期待します。
- ・知っているようで実はよく知らない 川越のことを学べる場は、高齢者に限らずニーズがあると思います。子ども向けに遊びながら学べる教室のようなことをしてみたいかがでしょうか。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・受講者も多く、また、活発な事業活動（開講数年間11回）を展開しており、運営委員の努力もうかがわれる。ただ、本講座の目的の一つとして、子ども達に知識、技術、知恵を伝承する人材を育成することを挙げているが、受講生や修了生のこの面での活動が実際にどの位行われているのか明らかにして欲しい（例えば受講生による子ども達への説明会はどの位行ったのか等）

・シニアと一緒に孫を学ばせられるようになれば、生涯学習としての工夫や参加者増へつながるのではないかと感じました。

・10年の活動の歴史があり、今尚ボランティアの養成が続けられている事に敬意を表します。子ども達の学習支援という目的がありますが、その活動の様子がみえないのが残念です。歴史を知ることによって今を理解し、次世代につないでいく活動も積極的に行って欲しいと願っています。（やり方はいろいろな方法があるので）

・社会のニーズに答え生涯学習の場、そして内容、シニア世代自身が考え、実践するものであり、協働事業として必要不可欠である。



# 協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部文化振興課
記入団体名	かわごえ国際ボランティアの会

記入年月日	平成24年11月29日
-------	-------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	かわごえ国際交流フェスタ2012	
協働事業の概要	○『かわごえ国際交流フェスタ2012』の開催 実施日時：平成24年11月11日（日）午前10時～午後16時 実施場所：蓮馨寺境内 参加人数：約2,500人 実施内容： 会場にて団体によるパネル展示、料理屋民芸品の紹介、民族音楽、踊りなどのパフォーマンスの実施。	
協働事業の決算額	96,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年11月11日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	31.5点
------	-------



○『かわごえ国際交流  
フェスタ2012』の実  
施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

市民活動団体が事業を行うにあたり、「協働事業」とし、市がバックアップすることにより充実した事業を行うことができるようになる。

今後も、共通の目的を達成するために、それぞれの立場を尊重しながら、協働事業を行うことは必要であると考えます。

【市民活動団体等】

今年6回目の実施で、市民への認知度は充分でした。これも市との協働事業という形で、補助金支援で十分な運営ができたと感謝しています。今後もこうした国際交流イベントが継続されることを望みますし、そのためにも市のご支援を賜りたいと思います。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>B</b>
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・外国の方と市民のニーズを吸いあげ、よりよいステージにしていっていただきたい。「継続は力なり。」

・8回を向かえた川越唐人揃いと同時開催で多くの観光客で賑わっていたと思います。蓮馨寺という会場も何も知らない人が立ち寄るにはとても良い場所設定だと思います。しかし、事業目的の川越市民との相互理解や国際ボランティアの啓発は、どのような成果としてあらわれているのでしょうか？イベントは成功でも次のステップに繋がっていないと意味がないのでは？

・事業実施の意義については大きなものがあると思います。備品調達等、工夫すればお金をかけずに用意できます。そういった方法を今後、検討してください。

⇒別紙へ続く



## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・本事業は行政と団体の適切な役割分担（事業の実施そのものは団体、会場の設備等ハードの提供、広報は市）に立ち、相互が密接に連携し、円滑な事業活動を展開し、市民の異文化への理解促進に貢献している。国際フェスタにおいて外国民芸品の即売等商業的事業は限界はあるであろうが、一部許容してもよいのではないか。

・多くの参加者や多くの団体が協力し合って開催されるので、協働にふさわしいと思いました。独立開催ができるよう頑張ってください。

・「川越」が国際交流の街というイメージ作りの一環を担っていると皆さんの活動を評価いたします。イベントを開催するには、多分、日常的な活動もされていると思いますが、報告からはその様子が見えず残念です。補助金なしでは、フェスタを縮小せざるを得ないとの事ですが、会が息長く活動するには何が必要で何が課題かいろいろな団体を巻き込み是非検討していただきたいと思います。頑張ってください。

・国際化する社会を想定し、市行政の事業の1つから出現したグループが行っているものであり、協働事業としてふさわしい。ただ、市民の認知度がもう1つ低いようだ。今後の広報等の工夫が求められる。

# 協働事業評価シート

部課名	教育総務部 文化財保護課
記入団体名	河越館の会

記入年月日	平成25年2月28日
-------	------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
--	-----------------------------

協働事業名称	河越氏の活躍とその時代を研修し文化財愛護を広める事業	
協働事業の概要	<p>市民に、河越氏の活躍した時代を中心にして歴史・考古学などの情報を提供する。</p> <p>1. 歴史講演会 「中世前期武士の屋敷と河越館」          日時：平成24年8月25日（土） 場所 川越市博物館視聴覚ホール          講師：東京都豊島区教育委員会・考古学者 橋口定志 【受講者：約70名】</p> <p>2. シンポジウム 「中世の河越を考える、東国史の中の河越」          日時：平成25年2月2日（土） 場所 やまぶき会館ホール 【受講者220名】          パネリスト 木村茂光（帝京大学教授）、落合義明（東海大学・慶応大学非常勤講師）          平野寛之（川越市教育委員会）、池谷初恵（伊豆の国市文化振興課）          司会 酒井紀美（茨城大学教授）</p>	
協働事業の決算額	125,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年8月25日、平成25年2月2日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	中	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34点
------	-----



○『河越氏の活躍とその時代を研修し文化財愛護を広める事業』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

初回としては、双方ともに十分に満足いく結果となった。双方とも今後の継続的な協働事業に積極的であるが、今回のようなシンポジウム形式はテーマ設定・講師の選択・事前準備における事務局側の運営体力の問題から、連続して開催することは困難と考えられる。

今後はシンポジウム以外の方向性も視野に入れ、より発展的に事業を計画することが双方のメリットとなるのではないかと。

【市民活動団体等】

この協働事業に参加し、行政・学識豊かな講師陣のご協力を得られ、初期の目的を達成することが出来ました。この事業実施結果の感想の主な点は次の3点です。

1. 我々は初めての参加団体にも係らず、市及び市関係部門との協調が出来たこと。
2. 招聘講師陣の快諾を得られたことと、講演内容及び説明資料が充実していたこと。
3. 主催者側として集客確保に十分な方策が出来たか、反省すること。  
(若い学生層、他市歴史愛好者などへの売り込み等)

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

- ・知る、学ぶ。内容的には満足のできる事業だと考えます。
- ・シンポジウム自体は、よかったと思うが、次の協働事業として川越市民がどのように参加していくのか、団体の活動計画が同好会的活動にならないようにするのが課題と思う。
- ・川越の歴史を知る上で大変意義のある事業と思いますが、他の事業とからめて、もっと多くの年代の人々に来てもらえるような設定にするとさらに良い事業になると思います。
- ・地域の歴史や文化を市民に伝え、それを通して地域の歴史への市民の理解を深め、地域の文化の保全への動機を植えつけようとする本事業は有意義である。シンポジウム講演会の参加者も多く、また、参加者の間に自ら住む町である川越の歴史について新しい発見があり、川越への愛着が深まるキッカケとなっている。
- ・来年度に今回のシンポジウムをどのように活かすのか、期待しています。参加者を会員やスタッフに取り入れて活動を行いやすくして欲しいと思います。

# 協働事業評価シート

部課名	保健医療部 健康づくり支援課
記入団体名	PFCの会

記入年月日	平成25年2月25日
-------	------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
--	-----------------------------

協働事業名称	バランスの良い食生活のための健康レシピカード作成	
協働事業の概要	<p>市民の健康維持・増進のため、バランスの良い食生活をしていただくため又、産直食材を利用しバランスの良い献立カードを作成し、健康まつり等イベントにて広く活用してもらう。また、会員が公民館等にて開催する講座及び事業にて配布し、説明および実習にて活用する。</p> <p>事業の実施期間：平成24年7月～平成25年2月（計22回）          ・作成した「レシピカード」については、市が開催する事業等で参加者等に配付した。</p>	
協働事業の決算額	77,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年7月31日 ～ 平成25年2月12日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	34.5点
------	-------



○『バランスの良い食生活のための健康レシピカードの作成』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

川越市の健康づくりにおいて「食事、運動、健診」の3本柱の推進を検討している。「食事」の分野では、野菜摂取量の推進を検討しており、地域活動栄養士PFCの会に考案していただいた野菜のレシピを今後も市民に周知していきたいと検討中である。

また、「レシピ考案：地域活動栄養士PFCの会」と掲載し、会の周知も回りたいと考えている。

今回の協働事業の実施により、団体の持つ専門性を十分に発揮し、川越市の健康づくりの推進を図ることができた。

【市民活動団体等】

栄養士・管理栄養士にとってレシピを考えることは現在情報が多く出ているため、その情報等を否定せず活用しながら、専門職として健康な食生活に生かせるように意見を出し合い作成できたのでとても良かった。

会員の協力体制も個人の人柄や、得意分野等良く理解することができこれからの活動に生かすことができると思う。

レシピのレパートリーが増え色々の組み合わせができるので良かった。

これからは、ライフステージ別や病態別に健康レシピを作成できれば良いと思う。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>A</b>
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・専門家集団によるレシピだけに味は充実したものになっているが、どの層をターゲットに作成されたのか不明確だ。ターゲットを明確にしたレシピ作りが望まれる。

・多くの方が集まる会場での配布説明を行ったのはとても良いことと思います。民間企業（デパートやスーパー）でもレシピカードを配布していますが、このレシピカードの特異性を生かせる配布方法を構築してください。

・せっかくのレシピを市民の方々に周知できるよう広報などでPRしてみてもいいのではないでしょうか。

⇒別紙へ続く



## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・本事業がバランスの良い食生活のための健康レシピカードを作成することにとどまっていたら、意義が低い。むしろ作成された健康レシピカードを市民に配布するあるいは、栄養相談等の事業開催時に市民に説明し、市民にバランスの良い食生活をしていただくことに活用されてこそ意義がある。事業の実施内容として、市民への配布数や説明の回数等が数量的に示されていないので成果が挙げたのか必ずしも的確に判断できないのが難点。

・カードの作成をどのように配布するとより効果的に多くの人へ渡せるのかを考えていただければと思います。次に期待しています。

・市民のみなさんが食生活改善に関心を高めるためにもレシピカードの配布は良かったと思う。これからも色々な組合せを考えて作成してほしい。

# 協働事業評価シート

部課名	福祉部 高齢者いきがい課	記入年月日	平成25年3月25日
記入団体名	NPO法人成年後見川越サポートセンター		

予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	老後の安心、成年後見制度の広報事業		
協働事業の概要	<p>○成年後見講座の開催（2回）            9月19日（水）午後 クラッセ川越、受講者18名            2月20日（水）午後 クラッセ川越、受講者25名</p> <p>○成年後見・介護保険・障害年金の相談会の開催（4回）            7月11日（水）午後、11月28日（水）午後、            1月14日（祝）午後、3月13日（水）午後。（川越西文化会館）</p> <p>○川越産業博覧会に出展            10月27日・28日（土・日）終日。（相談会と広報活動を実施）</p>		
協働事業の決算額	197,000 円	※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成24年7月11日 ～ 平成25年3月13日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	3	5	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	3	5	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	3	4	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	29点
------	-----



## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・市民に成年後見制度の意義や仕組みを知って頂くための広報事業は、重要である。高齢化社会の中で市民の成年後見制度を知りたいとするニーズに応えるのが本事業である。ただこの事業は、高齢者いきがい課の施策体系のどこに位置づけられるのか（成年後見制度は高齢者に限定されるものではないだろう）明らかにして欲しい。

・メインになる事業と無料相談会など継続して行う事業の2本立てにすることで、より認知度や相談者が増加するのではないかと思います。

# 協働事業評価シート

部課名	文化スポーツ部 文化振興課
記入団体名	南古谷ウインド・オーケストラ

記入年月日	平成24年7月20日
-------	------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input type="checkbox"/>	継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------------	--

協働事業名称	南古谷ウインド・オーケストラ 第2回定期演奏会	
協働事業の概要	<p>○平成24年1月から月に2~4回の練習を開始。 ※補助採択後の練習日【7月7日(土)、14日(土)、15日(日)】</p> <p>○南古谷ウインド・オーケストラ演奏会 実施日時：平成24年7月16日(土) 午後2時から4時まで 実施場所：東邦音楽大学川越キャンパス(グランツァール) ※入場無料 入場者数：585人(うち、アンケート回答者169人)</p>	
協働事業の決算額	200,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年7月16日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)  
・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	32.5点
------	-------





○『南古谷ウインド・オーケストラ 第2回定期演奏会』の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

南古谷ウインド・オーケストラの方々には、文化振興課の主催事業（成人式、大学ビッグバンド・ジャズフェスティバル等）においても協力いただいています。

オーケストラの活動に関しては、東邦音楽大学、地元自治会、中学校、高等学校の協力のもと演奏活動を行っていますが、この活動が地域に留まらず市全体の事業として各地域に広がっていくと良いと思います。

文化の香り高いまちとして、音楽を通じて街が活性化されることを望んでいます。

【市民活動団体等】

提案型協働事業として2回目になるが、昨年を経験した中学生は、練習の多さや時間の長さを不平を言わず熟した。このことは昨年の演奏会が生徒の心に残したものが大きいと感じた。この吹奏楽団は今年の九月で満七年となるが、昨年の演奏会を経験した後から変化してきたように感じる。音大生から各楽器の指導、指揮は専門家(教授等)からと、他では経験できない。地域への音楽の浸透という意味では成功したように感じる。これからは市内の他の中学校にも働きかけ、演奏者を募る予定である。ただ、学校の部活動と異なるのでどの様なことになるか、興味深いところもある。しかしながらこの事が成功すれば、音楽と蔵造のまちへと、そうなることを期待したい。さらに、行政として良い事業であれば、方向性の修復であるとか、今後の課題であるとか、様々な面でリーダーシップを発揮してもよいと思われる。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>A</b>
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・大学との協働事業はめずらしいことではないが、音楽に関しては指導者の力とそれに応える地域の人たちとの熱意が左右する。本事業は、音楽を通して、豊かな心を育むすばらしい企画だ。

・音楽文化の育みと振興、豊かな人間形成を目的に活動されているウインド・オーケストラ。毎回演奏を楽しみにしている。その中で活動している生徒は幸せである。今後の活動を期待している。

・一般の人に向けて何か事業を行う事は「おもい」が必要なのと同時に経済的な資金も必要です。入場料は無料となっていますが、これからは、入場料を取ることも考えた方が良くと思います。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・子ども達の情操、仲間づくり、文化振興などの面で大変有意義であると思います。報告書にもあるように、南古谷地区だけでなく、川越市全体で実施できると良いと思います。

・本事業は地域（南古谷地区）の音楽文化の振興に資するもので、協働事業として住民の利益に寄与している。また、本事業は地域の活性化にも資するものである。

・昨年に続き、とても良い事業でした。

・主体的な事業として、大変評価いたします。特に青少年を中心にした活動は、単なる文化活動だけでなく心身ともに良い影響を与え、今後も期待するところです。現在、一定地域に限られているように思うので市内中広い活動ができないか是非検討して頂きたい。

・市民と市内の大学が世代をこえて音楽という分野で交流でき、また、その音楽を他の市民にも楽しんでもらうことができた。音楽を通して市民文化を協働で高めている。

・大学生、高校生、中学生が協力し演奏する姿は胸が熱くなった。娘が中学生時代吹奏楽部でベースを弾いていたので一層感銘を受けた。孫もリズムに乗って体を動かす等楽しんでいた。これからも続けていただきたい。

# 協働事業評価シート

部課名	福祉部保育課
記入団体名	子どもの根っこを育てる会

記入年月日	平成24年12月20日
-------	-------------

予算事業名	協働の推進
-------	-------

新規 <input checked="" type="checkbox"/>	継続 <input type="checkbox"/>
--	-----------------------------

協働事業名称	保育園年長児への環境教育「森のムッシ教室」	
協働事業の概要	<p>○森のムッシ教室の開催 4つの保育園（川越市立中央保育園ほか）の年長児を対象に、仙波河岸史跡公園で、各園3回ずつ計12回森のムッシ教室を開催。</p> <p>●1回目の教室テーマ「土に戻るゴミ、戻らないゴミ」 公園のゴミを拾ってきてもらい、そのゴミが土に戻るゴミか否かを問いかける。自然遊びのマナーを身につけると共に、虫探しを楽しみながら、土に戻るための虫の役割や物質循環について学ぶ</p> <p>●2回目の教室テーマ「生態系ピラミッド」 虫探し・葉っぱ拾いをしながら生態系ピラミッドを作る。植物・生物どれ一つかけても、生態系は崩れてしまうことを遊びを通して学び、人間も含め自然は共生しながら成り立っていることを学ぶ</p> <p>●3回目の教室テーマ「葉っぱ観察、木の顔探し」 ルーペで冬芽や葉の観察をし、観察の楽しさを体感。</p>	
協働事業の決算額	58,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年9月11日～11月30日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	4	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33.5点
------	-------



## ○『保育園年長児への環境教育「森のムッシ教室」』の実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

- ・事業効果が非常に高く評価できるばかりでなく、行政との協働事業としては全国に先駆けた事例となったことも大いに評価できる。
- ・今後も、協働事業として、保育士がノウハウを学び日常の保育に行かせるようにするなど、更に充実した事業展開が必要と考える。

#### 【市民活動団体等】

本事業を行うことができ、大変感謝しております。

子供たちは、毎回教室をやるたびに、「今日は虫探し？虫見つけるの？」と聞いてきては、虫遊びを楽しみにしている様子が見られました。出来るだけ虫遊び、虫探しをやらせてあげたいという気持ちがあるのですが、本事業のスケジュールは、4月～7月が心算・プレゼン・事業採択で、実際に稼働できるのが8月以降です。8月、9月は猛暑による熱中症の懸念から保育園では散歩を控えるところが多かったり、雨での散歩は土手を歩く場合危険を伴うことから控えるなど、日程調整が難しくかったという印象です。

協働事業によって、本団体の活動はより多くの方々にも認知されるきっかけとなり、理解も広がったと考えておりますが、子供たちももっと楽しく自然の中で触れあう機会をつくり、より教材（虫や花）が多い春～初夏にかけても本活動ができるようなスケジュールになることを希望しております。

なお、協働事業によって活動したことで、保育課全体でも本活動を認知していただくことができ、また協働事業担当の部署の方々や、選定委員の皆様にも本活動を認知していただきました。活動を理解していただくには、まず活動を知っていただくことが大切です。それが本年度は達成できたと考えております。

今後も保育課・保育園から協力いただき、保育園児への森のムッシ教室が継続して提供できるよう、本団体として補助金だけに頼らない自立した方法を模索していきたいと考えております。この点につきましても、ぜひともアドバイス・ご指導いただけますようよろしくお願いいたします。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	<b>7名</b>	<b>A</b>
B	<b>3名</b>	
C	<b>0名</b>	
D	<b>0名</b>	

#### 【事業に関するコメント】

- ・子ども達に新鮮な世界を提供する本事業は、良質な活動と考えます。今後の展開に期待します。
- ・川越市の幼児への環境教育の推進のため現場での活動だけでなく係る保育園の関係者への啓発方法を企画してみるの、これからの活動に必要と思います。
- ・自然を学ぶと同時にマナーも学べる大変効果的な事業であると思います。このような事業が広く多くの子ども達に参加してもらえるとさらに、良いと思います。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・各地で自然環境が人間によって壊され、その保全が声高に叫ばれている中、子ども達に自然環境の保全行動の動機を形成しようとする本事業の意義は極めて大きい。保育園への呼びかけ等、市の役割も本事業の効果的かつ、円滑な実施のために重要であるが、市はこの役割を的確に果たしている。事業のやり方も巧妙で、子ども達に環境保全の動機を植えつけるのに上手なやり方である。

・良い事業なので、今後、大変期待しております。

・「森のムッレ教室」はゲーム等室内での遊びが中心になりつつある子ども達、大人への「自然」を考える一つの機会となっていると大変評価いたします。保育園でも幼稚園でも年間カリキュラムの中で現場の先生方が「自然」の領域をどうとらえ、どう工夫されているのかわかりませんが、「森のムッレ教室」を大いに利用され、貴団体との協同作業となることを願っています。

・都市化する中で忘れられていきそうな部分の大切な教育であり、幼少の頃からはじめるべき教育である人間形成にも重要。

・お話だけでなく、実際に外での体験は、素晴らしいと思います。これからも続けていただくようお願い致します。



# 協働事業評価シート

部課名	福祉部 子育て支援課	記入年月日	平成25年3月4日
記入団体名	NPO法人和太鼓文化を伝える会		

予算事業名	協働の推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	親子で楽しむ和太鼓・伝統芸能体験教室		
協働事業の概要	<p>○親子で楽しむ和太鼓・伝統芸能体験教室の実施</p> <p>乳児向け、および幼児向けの和太鼓体験教室を計7回開催。          (H24.10~H25.2)          親子で日本の伝統文化に触れることで、共通体験によるふれあいの時間をつくる。和太鼓や和楽器を通じた表現活動により、心と身体をのびやかにする。          ・会場：北部地域ふれあいセンター、東部地域ふれあいセンター          ・参加者数：144組(288人)</p>		
協働事業の決算額	47,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成24年10月28日 ~ 平成25年2月24日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)  
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34点
------	-----



○『親子で楽しむ和太鼓・伝統芸能体験教室』  
の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

市民団体からの提案による「提案型協働事業」のため、市が考える事業とは異なり、市民団体のノウハウを活かしたアイデア豊かな事業を実施することができたと思う。和太鼓を使って表現することで心や身体をのびやかにし、親子でふれあう時間もつくることができ、有意義な事業だったと思う。

ただ、事業を実施する際の市民活動団体の従事者が少なかったことが気になった。

【市民活動団体等】

今年度の開催については満足できる内容だった。協働事業でしかできない内容の充実度だった。参加者の満足そうな表情、態度、およびアンケートがすべてを物語っていると思われる。今回はやって良かったと思っている。

ただし、今回と同じ内容で次年度も行えるほど、当団体の体力（事務局体制および財政面）がないことも分かったため、今後は団体の規模に見合った内容で、方法を変えて独自事業としての開催を目指していきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	A
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

・心と技を育てる和太鼓事業。これからも地域のニーズに応え、継続されることを期待します。

・参加費がもっと高かったらどうだったのでしょうか。団体の感想にあるように人件費等を考えた上での少数精鋭での活動が望ましいと思います。事業そのものはとても良かったと思います。

・事業にあたり、共働者におまかせになってしまうことは良くあります。そうしないために目的を主催者がしっかりと認識して、事前に共働者と当日の内容を詰めていくことで、よりしっかりとした事業になります。

・和太鼓の体験を通じて親と子のふれ合い、つき合いを深めていこうとする本事業のアイデアはユニーク。アンケート結果等からみると本事業が親と子のふれ合いつき合いを深めるのに成果を挙げているように見える。

・とても良い事業だと思います。参加費の件など課題はあると思いますが、今回の開催で参加したメンバーなど参考に協力者と頑張ってください。

# 協働事業評価シート

部課名	教育総務部 地域教育支援課	記入年月日	平成25年3月21日
記入団体名	NPO法人子ども大学かわごえ		

予算事業名	協働の推進	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	-------	--

協働事業名称	子ども大学かわごえ学園祭 “こどもがつくるまち第4回「ミニかわごえ2012」”		
協働事業の概要	<p>○子ども大学かわごえ学園祭「ミニかわごえ2012」</p> <p>開催日時：平成25年3月16日（土）、17日（日）午前10時～午後4時          開催場所：川越市蓮馨寺境内          参加者数：1250人（※入場料500円）          出店数：85店</p> <p>「ミニかわごえ」のまちで、子どもたちが働き給料（地域通貨コエド）をもらい、税金を払ったうえで、自由に使うという職業体験及び市民体験をする。また、参加した子どもたちに、世代間交流の楽しさも体験してもらう。</p>		
協働事業の決算額	200,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成25年3月16日 ～ 平成25年3月17日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	②
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	①

## 【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）  
 ・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	2	5	3.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	3	5	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	32点
------	-----





○子ども大学  
学園祭“こども  
がつくるま  
ち第4回「ミ  
ニかわごえ2  
012」”の  
実施状況

### 【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

#### 【行政】

本年度も、天候と多くの参加者に恵まれ大変盛況であった。内容面でも、主催者及び参加者双方の工夫がみられ、年々充実した内容となっている。

今後も、本事業が子どもたちへ様々な体験を提供する場として発展し、子どもたちの学びに対する意欲をさらに高めていけるよう、ひきつづき魅力ある企画となるよう期待する。

#### 【市民活動団体等】

全体として大成功であった。準備や会場の運営に参加した実行委員スタッフたちが、各自自分の役割を自覚しながら自律的に行動し、しかも全体として調整のとれた組織的活動が展開されたので感動した。前回の課題はハローワークの前で仕事を求める子どもたちの行列が長くなり、仕事を待てるまで長時間待たせたという問題であった。今回は1日目はアレンジにミスがあったが、2日目は市民登録所で整理券を発行することにより問題を完全に解決した。

### 【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	<b>A</b>
B	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	協働事業としてうまく機能しなかった。	

#### 【事業に関するコメント】

- ・子ども達が楽しみながら職場等を体験する場として定着したように思います。今後も知恵を出し事業を継続していただきたいと思います。
- ・毎回すばらしい企画です。だれでも参加できるよう子どもの休みに開催され、多くの子どもに学びの意欲を高めることができるよう期待しています。
- ・提案型の協働事業が3年間という期限があるため、成功していても25年度の開催は危惧されます。（資金的には難しいと書いてあったので）教育機関以外での子どものイベントが少ないので、継続してほしいものです。
- ・事業に対する子ども達の興味が高く、実施の意義は非常に高かったと思います。設営に対する問題点も臨機応変に対応しています。次回以降も引き続き頂きたい。

⇒別紙へ続く

## 別紙【事業に関するコメント（つづき）】

・多数の参加者の実現等事業は全般に盛況で、参加した子どもの心に学びの意欲を刻みつけるのに本事業は大きなインパクトを与えているように見えた。主催団体と市との間で参加者の募集方法、時期についてのコミュニケーションをしっかりと図って欲しい。

・3年目が終わったのでノウハウや人が集まり、独立しての開催が可能になったのではないのでしょうか。今後も活動を期待しています。

・事業としては大変すばらしい。子ども達に色々と体験してもらうことは自信となり将来きっと役に立つと思います。これからも引き続き事業を展開してほしい。